



進路だより

令和4年度 第5号
令和4年 6月29日
島根県立大東高等学校
進路指導部 発行

総力特集：「7月進研模試」

第1学期の期末試験が終わりました。ほっとしている人も多いと思いますが、次にみなさんを待ち構えているのは、「進研総合学力テスト」、通称「進研模試」(以下「模試」という。)です。今回の進路だよりはその徹底特集を行います。

- 実施日 : 1, 2年生 : 7月6日(水), 3年生 : 7月1日(金)・2日(土)
- 実施教科 : 1年生・・・3教科
 [国語(60分/100点) 数学(80分/100点) 英語(60分/100点)]
 2年生・・・3教科
 [国語(80分/100点) 数学(100分/100点) 英語(80分/100点)]
 3年生・・・5教科(受験教科は、文系・理系によって異なります)
 [国語(100分/200点) 数学(100分または120分/200点) 英語(100分/200点)
 地歴公民(各60分/各100点) 理科(各30分×2または各60分/各100点)]

全国模試は、各学年によって、目的や活用法が異なります。自分の学年の目的をよく読んで、参考にしてください。

どの学年にも共通すること、そして最も大切なことは、「模試でいい成績をとるために頑張る」ことではなく、「模試を通して日ごろの学習成果を確認し、弱点を補強すること、そして進路意識を高めること」です。有効に活用しましょう。



～今回の模試の目的～

3年生の目的

▼「受験生」としての意識を一層高める。

県総体が終わって1ヶ月近く経過しました。放課後遅くまで残って勉強している3年生もよく見かけられます。8月までの今のこの時期は、受験勉強の基礎固めをすべき時です。できるだけ早く「受験生」としての生活習慣そして学習習慣を確立して学力をつける必要があります。6月の大学入学共通テスト模試(通称「6月進研マーク模試」)が終わった後ですが、多くの人は部活動を引退した「受験生」として受ける2回目の模試です。意識を一層高めて、現在の実力を確認しましょう。

▼夏休み以降の受験勉強の課題を見つける。

今回の模試結果が返ってくるのは8月下旬、つまり2学期スタート時です。今回の模試を通して、2か月後の自分に「ここが自分の課題だぞ」というメッセージを送ることになります。事前にできる限り弱点を補強し、本当の課題をあぶりだそう。

▼最新入試情報を反映した志望校成績を活用する。

2023年度入試科目・配点など、最新入試情報を反映した成績データが返却されます。実際に自分の志望校の受験科目を意識し、活用する模試にしましょう。

1年生の目的

▼初めての全国模試を通して、45.0万人の中での自分の学力を確認する。

今回の模試は、高校入学後初めて受験する「全国模試」です。みなさんの中には「期末テストが終わった直後なのに、なんでまた試験？」と思う人がいるかもしれません。しかし、普段学校で受けているテストの受験者母数は、本校1年生の77人です。それに対し、今回の模試では全国約45.0万人もの「同級生」が一度に受けます。みなさんの多くが、いずれ全国の何十万人という受験生を相手に戦うことが強いられます。自分の学力が、全国の高校1年生の中でどれくらいの位置なのかを確認しましょう。校内順位で一喜一憂せず、視野を広げて自分の成績を見直すことが必要です。

▼現時点での弱点分野をチェックする。

入学して約3か月間、高校での学習を終えました。模試は、今までに学習した項目を中心に、幅広く出題されます。今回の模試を通して、現段階で、国語・数学・英語の学力がどれくらい身についているか、また弱点分野がどこかをチェックしましょう。

▼進路や入試を考えるきっかけにする。

みなさんはまだ高校に入ったばかりで、その先のことなどなかなか考えられていないかもしれません。ただ、いつかどこかで進路や入試に対して考え始めないと、今の何も考えられない状態のままで3年生になってしまいます。今回の模試をきっかけに、進路や受験について一度考えてみましょう。



2年生の目的

▼志望校を考える。

今回の模試から「志望校判定」が行われます。ただ何となく知っている大学名を書きならべても、何の意味もありません。事前に志望校についてよく考え、理解を深めておきましょう。また、結果から「どのくらい頑張れば志望校に近づけるのか」を確認しましょう。

▼高校生活折り返し地点での基礎学力をチェックする。

早いもので、もうすぐ高校生活も折り返し地点に到達します。よく言われることですが、多くの教科で、2年次終了時までには大学入学共通テスト出題範囲のほとんどの学習内容を終わめます。これまで充実した学習ができましたか? 2年生になって初めて受ける今回の模試を通して、自分の学力が、全国約45.6万人の高校2年生の中でどれくらいの位置なのかを確認し、自分の課題や弱点をしっかりと確認しておきましょう。

▼国数英のバランスを確認する。

3年生になってからの受験では、国数英の3教科だけでなく、地歴公民や理科も必要になってきます。したがって、3年生に進級してからは国数英の3教科の学習に費やせる時間がどうしても減ってしまいます。みなさんは国数英の自分の成績を示す三角形を見たことがありますよね。いびつな二等辺三角形になっていませんか? 大学入学共通テストでは国数英の3教科の合計得点が非常に大きなウェイトを占めます。3教科のうちいずれかが極端に苦手な場合、2年生のうちには早急に対策しなければなりません。まだ間に合います。そのバランスを確認するという意味でも大切な模擬試験です。

3年生

判定や偏差値に一喜一憂することなかれ！！

今後皆さんが受験する「マーク模試」は大学入学共通テストを想定しており、「記述模試」は国公立大学の個別学力検査（通称「2次試験」）や私立大学の一般入試を想定した、いわゆる「2次力」をはかるための模試です。

今回の「7月進研模試」は「記述模試」で、全国約36.1万人の高校3年生や浪人生が受験します。その結果が返ってきたとき、偏差値や全国での順位を確認して自分の位置を知ることは重要なことですが、A判定（合格の可能性80%以上）やE判定（同20%未満）がついた場合は、現在の自分の志望校が適切であるかどうか再考する必要があります。しかし、**今の段階では、判定や偏差値に一喜一憂することなく、学力の基礎固めをすること、つまり自分の学力を伸ばすことに集中しましょう。**毎日の授業を大切に、予習・復習・課題・小テスト等にしっかり取り組みましょう。また、模試の問題と解答・解説を捨てないで、休日に模試の解き直しをしましょう。

模試を受験することで、自分の弱点教科や分野、伸ばすべき学力が確認できるので、そこを重点的に補強できるように、夏休みの学習計画を立てましょう。

1年生

初めての全国模試！有効に活用するには？

7月6日に高校生になってから、初めての全国模試となる進研模試を受験することになります。模試は普段のテストと異なり、明確な試験範囲はありません。これは、定期試験が授業で学習した内容の「復習テスト」であるのに対し、模試は日頃の学習した成果がどれだけ定着しているかを確認する「実力テスト」であるからです。

そして今回、「実力テスト」である「7月進研模試」を受ける前にぜひやってもらいたいことがあります（「実力」テストだから何も準備しなくてよいわけではありません）。それは、各教科の“テスト直しノート”を読み返して復習することです。“テスト直しノート”には、試験で自分が誤解していた部分や完全に理解できていなかった部分、ミスしやすい部分が、簡単に把握できるように、皆さんが工夫して作っているものです。テスト直しの無い教科は、中間・期末試験をやり直してください。

学力は以下①～⑤のプロセスを経て、向上していきます。

①授業の予習 → ②授業 → ③授業の復習（課題） → ④定期試験 → ⑤定期試験の見直し・復習

⑤をまとめた成果である“テスト直しノート”は日頃の学習の軌跡だといえ、実力を確認する前に一読しておくといでしょう。ですから、今後もいいテスト直しノートを自分で作ってください。

最後に、模試は、自分の学習到達度を確認するものであると同時に、その成績は日々の授業の取組みを反映するものです。実力は、授業や定期試験を大切に結果として身につくものです。返却された成績が、想像以上に悪かったのであれば、日々の自分の学習スタイルを再考してみるとよいでしょう。

2年生

志望校を真剣に考える時が来た！！

2年生になって約3か月が経過しました。学習に関してはどうでしょうか？ 1年生のときの自分と比べて何か変化があったのでしょうか。そんな問いかけを自分自身にしてみるのもよい時期になったのではないのでしょうか。

受験に関しては、実は2年生が勝負の年です。部活動を頑張っている人も、是非学習に対しても前向きに取り組んでほしいものです。

そんな中、7月6日に進研模試が実施されます。人間は忘れる動物。今まで通りしっかり復習をして受験しましょう。「忘れてる」ということがみなさんの実力ではないはずですよ。

ただ、今回の模試はこれまでの模試とは一味違います。それは、**志望校判定をしてくれる**こと。志望校判定とは、今の自分の実力で自分が希望する大学に合格する可能性を判定してくれるシステムのことで、是非、有効に活用してほしいと思います。

しかし、多くの人はまだ具体的に志望校が決まっていけないのではないのでしょうか。今回の進研模試をきっかけに、自分の進路先のことをよく考えてみましょう。そして、よく調べてみましょう。具体的な志望校が決まれば目標ができるということです。是非目標を定めて、日々の学習にしっかりと取り組んでほしいと思います。

そこで、まだはっきりと志望校が決まっていけない人のために、次のような解決策を提案します。

① 先生に聞くべし！！

担任の先生はもちろん、聞きやすい先生を訪ねてみよう！きっと力になってくれるはず！

② 友達や先輩に聞くべし！！

すでに調べ始めている同級生もいるはず。それとなく探ってみよう！同じ目線なので、思わぬところから興味が広がるかもしれない！またすでに卒業した先輩も良い。

③ 教室や進路資料室の資料を見るべし！！

特に進路資料室は宝の山！

④ インターネットで調べるべし！！

それぞれの学校ごとに、ホームページが開設されています。片っ端からホームページを見るのも良いでしょう。

最後に…、**志望校は偏差値ではなく、自分のやりたいことで決めること！！**

以上、健闘を祈ります。